

滋賀県立琵琶湖博物館令和4年度新琵琶湖学セミナー 「モノを観る・モノを分ける——なぜ分けることで世界 を理解しようとするのか？」を開催します

琵琶湖博物館では、令和4年度新琵琶湖学セミナー(全3回・要事前申込・無料)をオンラインで開催します。生物や人工物を観察して分けることで見えてくる世界を、当館学芸員と館外の専門家による講演で、わかりやすく解説します。皆様のご参加をお待ちしております。

記

滋賀県立琵琶湖博物館令和4年度新琵琶湖学セミナー

「モノを観る・モノを分ける——なぜ分けることで世界を理解しようとするのか？」

日時：第1回・令和5年1月28日(土)、第2回・2月25日(土)、第3回・3月25日(土)
各回13時30分~15時30分

場所：ZOOMによるオンライン開催(開催3日前に、申込時に登録されたメールアドレス宛に視聴URL等を送付します)

内容：第1回・マイナー生物学の世界

「微小生物の種とは」

鈴木隆仁(琵琶湖博物館 主任学芸員)

「絶滅と分ける事~動物分類学が種の保全に貢献出来ることはなにか」

島野智之氏(法政大学国際文化学部 教授)

第2回・考古学の世界

「年代のものさし」

妹尾裕介(琵琶湖博物館 主任学芸員)

「弥生時代の青銅器：形、模様を分けて見えてくるもの」

井上洋一氏(奈良国立博物館 館長)

第3回・昆虫学の世界

「昆虫の分類・多様性と進化——オサムシを例として」

八尋克郎(琵琶湖博物館 総括学芸員)

「イモムシ、ケムシや食樹・草を分けたり、まとめたりすることでガ・チョウ類の多様性、進化を理解する」

寺本憲之氏(滋賀県立大学 客員研究員)

定員：無し

対象：高校生以上

参加費：無料

応募方法：しがネット受付サービスから必要事項をお送りください。

※各回、応募の締め切りは開催10日前(1月18日、2月25日、3月25日)です。